

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 551 号	氏名	東武 昇平
学位審査委員		主査	蒔田 直昌
		副査	大園 恵幸
		副査	増崎 英明
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、膀胱知覚過敏の一つとして膀胱粘膜下筋線維芽細胞における局所レニン・アンジオテンシン(RA)系、ギャップジャンクションの関与を明らかにしようとするもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 ラットに経尿道的に塩酸を注入した化学的膀胱炎モデルを作成し、8日後に膀胱内圧を計測し、膀胱の免疫染色でアンジオテンシン受容体(AT1)コネキシン 43(Cx43)の発現を検討したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、AT1 と Cx43 は α-actin, vimentin 陽性の膀胱粘膜下筋線維芽細胞に発現していることが判明した。塩酸誘発急性膀胱炎によって筋線維芽細胞層は有意に増加し、AT1・Cx43 の発現も増強した。以上の結果は膀胱知覚過敏の一つのメカニズムとして、粘膜下筋線維芽細胞の局所 RA 系、ギャップジャンクションが関与することを示唆するものであり、今後の新たな治療法開発への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は泌尿器科学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			